

ABBYY® FineReader 12

クイック スタート ガイド

このドキュメントは ABBYY FineReader の使用についての基本的説明を提供します。ABBYY FineReader、Screenshot Reader、Hot Folder の完全なユーザーガイドは、[ABBYY ウェブサイト](#)でご利用いただけます。また PDF 版も [ABBYY ウェブサイト](#)からダウンロードいただけます。

目次

ABBYY FineReader の概要	2
ABBYY FineReader のインストールと起動	2
システム要件.....	2
ABBYY FineReader をインストールする.....	2
ABBYY FineReader を起動する.....	3
ABBYY FineReader での作業	3
組み込まれた自動タスク.....	3
ドキュメントの変換手順.....	5
ドキュメントの解析と検出領域の調整.....	6
ABBYY FineReader のライセンス認証と登録	7
ABBYY FineReader のライセンス認証.....	7
ABBYY FineReader の登録.....	7
プライバシー ポリシー.....	8

ABBYY FineReader の概要

ABBYY FineReader は、スキャンされたドキュメント、PDF ドキュメント、画像ファイル（デジタル写真を含む）を編集可能なフォーマットに変換するように設計された光学文字認識（OCR: Optical Character Recognition）プログラムです。

ABBYY FineReader 12 の特長

- すばやく正確な OCR
- 世界の言語の多くに対応
- OCR の読み取りを確認・調整する機能
- 直感的なユーザーインターフェイス
- ドキュメントの画像を認識する機能
- 複数の保存形式とクラウド ストレージサービスに対応
- 無料のテクニカルサポート（登録ユーザーのみご利用いただけます）

ABBYY FineReader のインストールと起動

システム要件

1. 1 GHz 以上の 32-bit (x86) または 64-bit (x64) プロセッサ
2. Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 7、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Server 2012/2012 R2、Microsoft Windows Server 2008/2008 R2、または Microsoft Windows Server 2003
ユーザーインターフェイスに選択した言語にオペレーションシステムが対応していることが必要です。
3. 1024 MB RAM
マルチプロセッサ システムの場合、各追加プロセッサにつき 512 MB RAM の追加が必要です。
4. インストールには 850 MB、プログラム実行用に追加で 700 MB の空き容量
5. 最低 1024×768 の解像度に対応するビデオカードおよびモニター
6. キーボードおよびマウス等のポインティング デバイス

ABBYY FineReader をインストールする

ABBYY FineReader 12 をインストールするには:

1. セットアップファイルが入ったフォルダか、セットアップ ディスクにある **Setup.exe** ファイルをダブルクリックします。
2. セットアップ プログラムの指示に従って操作します。

ABBYY FineReader 12 Corporate は、ローカルエリア ネットワークにインストールすることができます。
[ABBYY ウェブサイト](#) からシステム アドミニストレータ用ガイドをダウンロードできます。

ABBYY FineReader を起動する

ABBYY FineReader 12 を起動するには:

- タスクバー 上で、[スタート] ボタン、[すべてのプログラム]、[ABBYY FineReader 12 (または [ABBYY FineReader 12 Corporate])] を順にクリックするか、または、
- **Microsoft Office** アプリケーションで、リボンの [FineReader 12] タブにある [ABBYY FineReader] ボタンをクリックするか、または、
- Windows Explorer の画像ファイルを右クリックし、ショートカットメニューの [ABBYY FineReader 12 で開く] をクリックする、あるいはファイルを変換するフォーマットを選択します

ABBYY FineReader での作業

ABBYY FineReader を使ってドキュメントを処理するには、次の 4 つの手順を行わなければなりません。

- ドキュメントの画像を取得
- ドキュメントを認識
- 読み取りを確認および調整
- お好みのフォーマットで結果を保存

同じ手順を何度も繰り返す場合、ボタンをワンクリックするだけで必要なアクションを実行する自動タスクを使用できます。複雑なレイアウトのドキュメントを処理するには、各手順を別個にカスタマイズおよび実行することが可能です。

組み込まれた自動タスク

ABBYY FineReader を起動すると、[タスク] ウィンドウが表示され、一般的な処理シナリオを想定した自動タスクが一覧で表示されます。[タスク] ウィンドウが表示されない場合は、メインツールバー上で [タスク] ボタンをクリックしてください。



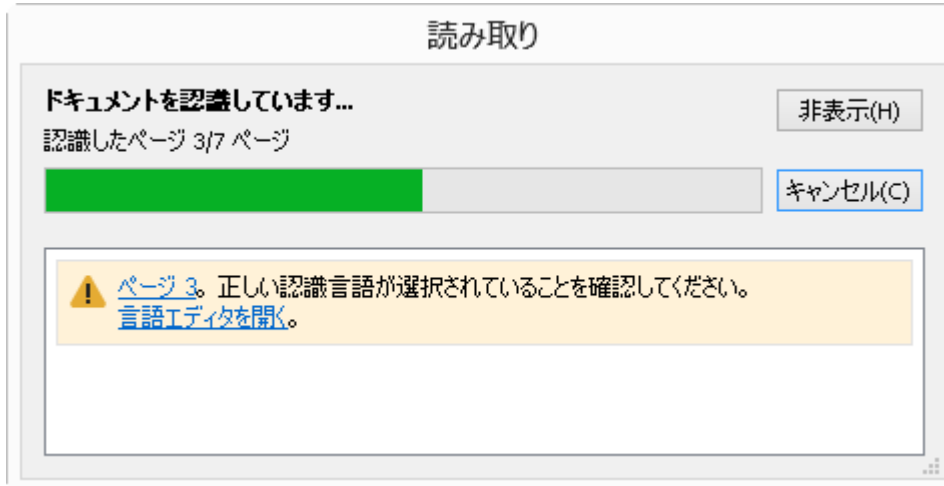
ドキュメントを変換する:

1. [タスク] ウィンドウで、左のタブをクリックします。
 - **一般** は、最もよく使用される ABBYY FineReader タスクを一覧表示します
 - **Microsoft Word** は、ドキュメントを Microsoft Word に自動変換するタスクを一覧表示します
 - **Microsoft Excel** は、ドキュメントを Microsoft Excel に自動変換するタスクを一覧表示します
 - **Adobe PDF** は、ドキュメントを PDF に自動変換するタスクを一覧表示します
 - **その他** は、ドキュメントをその他フォーマットに自動変換するタスクを一覧表示します
 - **マイ タスク** はユーザーのカスタム タスクを一覧表示します (ABBYY FineReader Corporate のみ)
2. [ドキュメントの言語] ドロップダウン リストから、ドキュメントの言語を選択します。
3. [カラーモード] ドロップダウン リストから、カラーモードを選択します。
 - **フルカラー** はドキュメントのカラーを保持します
 - **モノクロ** はドキュメントをモノクロに変換し、サイズを減少させ処理速度を上げます

重要! ドキュメントをモノクロに変換した後で、色を復元することはできません。カラードキュメントを作成するには、紙のドキュメントをカラーでスキャンするか、カラー画像が含まれるファイルを開きます。

4. Microsoft Word、Microsoft Excel または PDF タスクを実施する場合、ウィンドウ右側にある追加のドキュメントオプションを指定してください。
5. **[タスク]** ウィンドウ内でボタンをクリックしてタスクを開始します。
タスクを開始すると、現在 **[オプション]** ダイアログボックスで選択されているオプションが使用されます (ダイアログボックスを開くには **ツール > オプション...** をクリックします)。

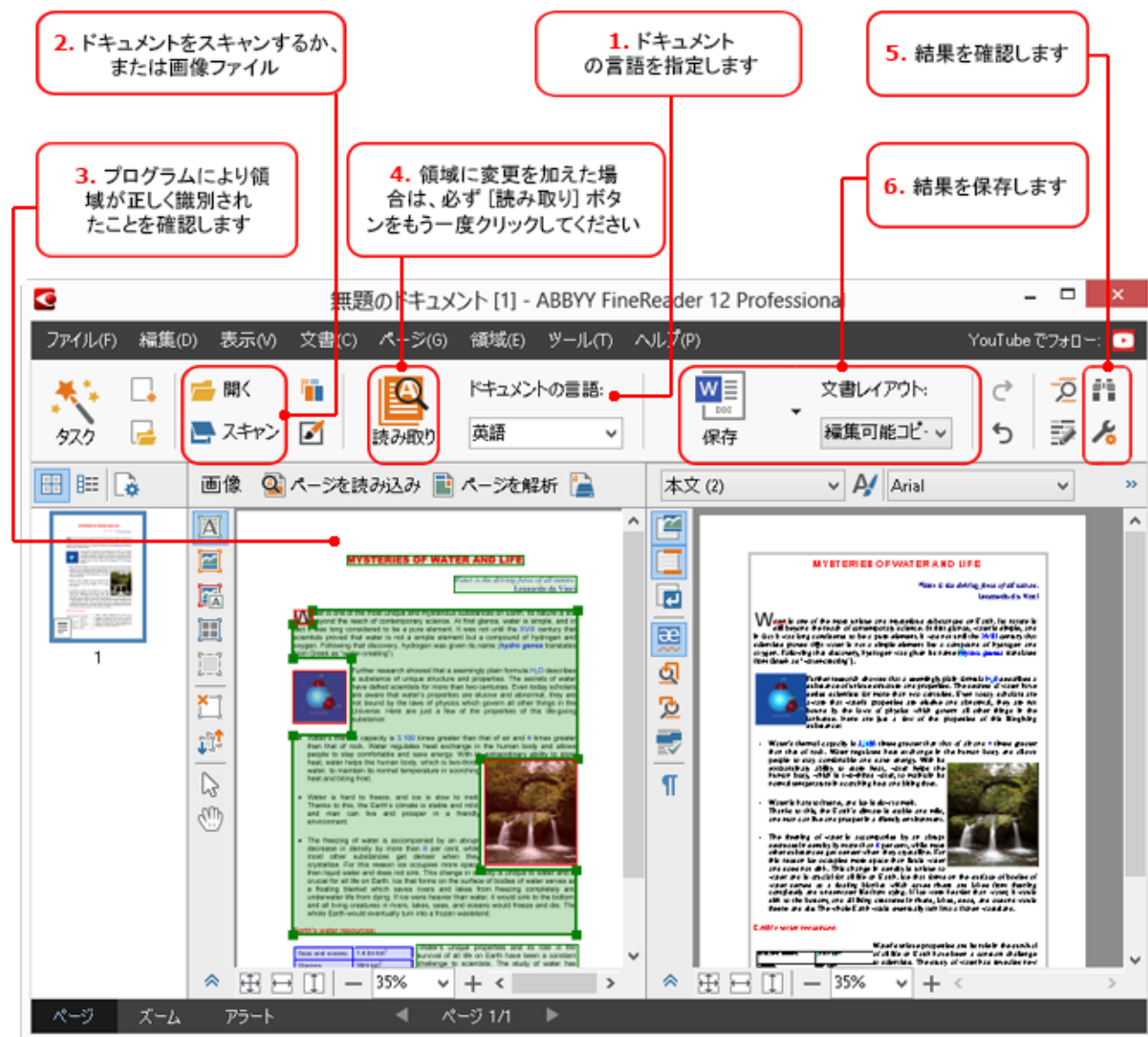
タスク実行中、タスクのプログレス ウィンドウに、現在の進捗度と共にプログラムが出すヒントや注意を表示します。



タスクが実行されたら、FineReader ドキュメントに画像が追加され、認識されて、選択した形式で保存されます。プログラムが検出した領域を調整し、認識されたテキストを確認し、読み取り結果を他の対応フォーマットで保存することができます。

ドキュメントの変換手順

いずれの処理手順も ABBYY FineReader メイン画面でセットアップおよび開始することができます。



1. メインツールバー上で、**[ドキュメントの言語]** ドロップダウン リストからドキュメントの言語を選択します。
2. ページをスキャンするか、ページ画像を開きます。
デフォルトでは、ABBYY FineReader はスキャンしたページあるいは開いたページを自動的に解析して認識します。このデフォルト動作は、**[オプション]** ダイアログ ボックスの **[スキャン/開く]** タブで変更できます (ダイアログ ボックスを開くには **ツール > オプション...** を選択します)。
3. **[画像]** ウィンドウで、検出された領域を見直し、必要な変更を行うことができます。
4. 領域を調整した場合は、メインツールバーにある **[読み込み]** をクリックして、再認識させます。
5. **[テキスト]** ウィンドウで、認識した読み取り結果をレビューし、必要に応じて修正します。
6. メインツールバーの **[保存]** ボタンの右側にある矢印をクリックして、保存形式を選択します。また、**[ファイル]** メニューで保存コマンドをクリックする方法もあります。

ドキュメントの解析と検出領域の調整

ABBYY FineReader は、読み込み前にページ画像を解析し、**テキスト、写真、背景画像、表、バーコード**など、画像上の異なる種類の領域を検出します。プログラムは、この解析に基づいて、どの領域をどの順番で認識するか判断します。この情報は、ドキュメントのオリジナルフォーマットを再度作成するためにも使用されます。

デフォルトでは ABBYY FineReader は新しく追加されたページを自動で解析します。しかし、複雑なページレイアウトでは、プログラムが正しく識別することに失敗した場合に手動で領域の調整を行いたいことがあります。これは、多くの場合、すべての領域を手で描くよりも現実的な方法です。

領域を描いたり調整するためのツールは、[画像] ウィンドウ、および [テキスト]、[写真]、[背景画像]、および [表] 領域のポップアップ ツールバーにあります。領域のポップアップ ツールバーを表示するには、その領域を左クリックします。

領域ツールを使用することで以下が可能です：

- 領域を追加または削除
- 領域の種類を変更
- 領域の境界または領域全体を移動
- 領域の四角部分を追加または削除
- 領域を並べ替え

領域を調整したら、もう一度ドキュメントの認識を行います。

領域ツールの使用に関する詳細な説明と、一般的ではないレイアウトを扱う際のヒントについては、[ABBYY ウェブサイト](#)から入手いただける完全ユーザーマニュアルをご参照ください。

ABBYY FineReader のライセンス認証と登録

ABBYY FineReader のライセンス認証

フルモードでお使いいただくには ABBYY FineReader 12 のコピーをライセンス認証する必要がある場合があります。ライセンス認証プロセスは安全で匿名の状態で行われます。

インターネットを介した方法が、最もシンプルで早いライセンス認証方法です。電子メール、電話、ファックスを使ってコピーのライセンス認証を行うことも可能です。詳細は [ABBYY ウェブサイト](#)をご覧ください。

ABBYY FineReader の登録

ABBYY FineReader 12 のコピーをご登録されることを推奨します。登録の特典は次の通りです：

- 無料のテクニカルサポート
- スクリーンショット上のテキストを認識するボーナスアプリケーション ABBYY Screenshot Reader を提供
- 失くしたシリアル番号を復元する機能
- 自動製品アップデート
- ABBYY から限定製品提供

製品コピーを登録するには、以下のいずれかを行ってください。

- 製品アクティベーション時に表示される登録フォームに記入
- ヘルプ > **今すぐ登録...** を順に選択して、登録フォームに記入する
- [ABBYY ウェブサイト](#)で登録フォームに記入する

プライバシー ポリシー

お客様は、ABBYY FineReader 12 の製品コピーの登録時に個人データを ABBYY に送信することに同意されるものとします。ABBYY がユーザーから受け取ったデータについて ABBYY はエンドユーザー ライセンス契約書に規定の通りに**機密保持を守り、適用法に従って**収集、取り扱い、使用を行うことに、お客様は同意します。お客様から提供されたいかなる個人情報も、ABBYY 企業グループだけが使用し、適用法やエンドユーザー ライセンス契約書によって求められることがない限り、いかなる第三者にも開示されることはありません。

製品登録ダイアログ ボックスで該当するオプションを選び ABBYY からの情報受取に合意した場合に**限り**、ABBYY は製品ニュース、価格情報、特典情報、その他当社および製品に関する情報を電子メールでお客様に送信することがあります。お客様は、いつでもユーザーはメール配信リストからメールアドレスを削除するように ABBYY に指示することができます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、その内容について ABBYY は何ら責任を負いません。本書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供されます。同ソフトウェアは、契約条件に厳密に従った場合に限り、使用および複製が行えます。使用許諾契約または機密保持契約で明確に許可されている場合を除き、ソフトウェアを何らかの媒体に複製することは、ロシア連邦の「ソフトウェアおよびデータベースの法的保護に関する」法律および国際法に違反します。本書のいかなる部分も、書面による ABBYY の明示的な許可を得ることなく、電子的またはその他のいかなる形式または方法によっても、その目的を問わず、複製または伝送を行ってはなりません。

© 2013 ABBYY Production LLC. All rights reserved.

ABBYY, ABBYY FineReader, ADRT は、ABBYY Software Ltd. の登録商標または商標です。

© 1984-2008 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

次の米国特許により 保護されています: 5,929,866; 5,943,063; 6,289,364; 6,563,502; 6,185,684; 6,205,549; 6,639,593; 7,213,269; 7,246,748; 7,272,628; 7,278,168; 7,343,551; 7,395,503; 7,389,200; 7,406,599; 6,754,382。その他の特許申請中。

Adobe® PDF Library は Adobe Systems Incorporated より使用許諾を受けています。

Adobe, Acrobat®, Adobe のロゴ, Acrobat のロゴ, Adobe PDF のロゴおよび Adobe PDF Library は、米国および/またはその他の国々における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

本コンピュータ プログラムの一部は次の著作権の対象です: © 2008 Celartem, Inc. All rights reserved.

本コンピュータ プログラムの一部は次の著作権の対象です: © 2011 Caminova, Inc. All rights reserved.

DjVu は米国特許 No. 6,058,214 によって保護されています。 外国特許申請中。

AT&T Labs Technology 搭載。

本コンピュータ プログラムの一部は次の著作権の対象です: © 2013 University of New South Wales. All rights reserved.

© 2002-2008 Intel Corporation.

© 2010 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Outlook, Excel, PowerPoint, SharePoint, SkyDrive, Windows Server, Office 365, Windows Vista, Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

© 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved.

JasPer License Version 2.0:

© 2001-2006 Michael David Adams

© 1999-2000 Image Power, Inc.

© 1999-2000 The University of British Columbia

本製品には OpenSSL ツールキットで使用するために OpenSSL Project により開発されたソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org/)。本製品には Eric Young (eay@cryptsoft.com) によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

© 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

©1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

本製品には Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)によって作成されたソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアの一部は次の著作権の対象です: © 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Apache, Apache の羽根のロゴ、および OpenOffice は、The Apache Software Foundation の商標です。OpenOffice.org およびカモメのロゴは、The Apache Software Foundation の登録商標です。

EPUB® は IDPF (International Digital Publishing Forum) の登録商標です

他のすべての商標は、それぞれの所有者の独占的な所有物です。